

第3期四谷地区協議会会議録

分科会名	第3分科会	開催回	第2回
開催日	平成22年9月6日(月)14:00~15:00		
出席者	区民	4名	職員 職員2名
主な協議の テーマ	① 内藤とうがらしの取り組みについて ② 秋の花いっぱい運動についての計画 他		
会議内容 主な意見	<p>1 「内藤とうがらし」の取り組みについて（確認と情報交換）</p> <p>冒頭 リーダーが作成した内藤とうがらしの取組みについてのDVDを確認後引き続き大田原市のとうがらし（昭和37年頃）農村風景の映像を確認。</p> <p>○地域での取り組み状況と情報交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見 今年の夏は暑く実りも早かったのではないか。 ・新宿御苑GTFイベント（生物多様性）で、内藤とうがらしを食材として利用したメニューが販売された。地域で育成したとうがらしを300ヶ提供し、当日NPOと協働した協議会の取り組みの紹介パネルが展示された。 (意見) とうがらしの国産品が減少してきたので、内藤とうがらしを復活する活動はそのような意味でも有意義かと思う。 <p>○四谷中学コミュニティクラブでの取り組み状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NPO団体に所属している料理研究者による指導で、ペペロンチーノ、玉味噌などを作成。次回9月18日、10月16日（最終回） <p>○今後の活動計画案</p> <p>3年計画で推進する「地域で育てる内藤とうがらし」</p> <p>(決定事項)</p> <p>平成23年度は、今年度収穫した内藤とうがらしの実の種から育てることを試みる。 (意見交換)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・種から発芽させることは（直播）は難しいと言われているので工夫が必要。 ・（発芽できる）種の選別が必要→畑で種を熟させるとよい。 ・苗の配布、種からの育成を両立させていきたい。 ・苗を配布するだけではなく、種から育てることをアピールしてはどうか。 ・種から育てる中、失敗談もあってよいと思う。試行錯誤していくことが大切。 ・多くの人と共通の話題ができて楽しい。 ・「食べることができ、鑑賞もできる。地域で育てると共感できる。」が魅力。 <p>関連計画</p> <p>10月10日開催「四谷大好きまつり」で七色とうがらしの実演販売（300袋）を計画。 ※口上を謳いながら調合できる方への謝礼金ととうがらしの焙煎料金は大好きまつりの実行委員会で負担 協議会より地域のとうがらしを提供することとした。</p> <p>300袋の配布内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商店会に100袋（試食、試作品の参考にさせていただく。） ○当日販売100袋（300円～500円程度） ○とうがらしを提供する地区協議会に100袋→協議会委員及び協力者に配布 		

	<p>2 秋の花いっぱい運動について (日程は会議後学校と調整され決定されました)</p> <p>○時 期 四谷第6小学校 11月1日(月) 13:30～ 四谷小学校 11月5日(金) 13:30～</p> <p>○花の苗 パンジー</p> <p>○土の再生について 例年秋の植替え時に、春から試用した土に堆肥を混ぜ込み再生してきたが、今年度より四谷ひろばの「土の再生」プロジェクトへ賛同し使用した土を四谷ひろばに持ち込みプロジェクトに協力する。 (土は新しい培養土に入れ替える。)</p> <p>【当日までの計画案】 四谷小学校分：回収10月30日(土) 予定 (実施日を参考に) 回収後四谷小でプランター洗浄 四谷第6小学校分：回収日未定 回収後ひろばでプランター洗浄→当日までに小学校に持ち込む。</p> <p>※次回の会議で集める手順を検討</p> <p>花苗は手配事務局手配(済) → 苗@126円(内税) パンジー(大) 1プランター4株 花色を偏らないよう依頼</p> <p>※春の培養土と今回の土を一括精算する(見積もり依頼中)</p> <p>3 その他</p> <p>○協議会広報誌「声」について(確認) 内藤とうがらしを見開きで特集する。地域の分布絵図を作成(広報会)</p> <p>○今年度末の協議会予算執行状況により、とうがらしの育成、利用の仕方などをまとめたパンフレットの作成を視野に入りたい。</p>
次回日程	<p>10月14日(木) 14:00～ 次回のテーマ 「秋の花いっぱい運動」「秋の一斉清掃」「内藤とうがらし」について</p>

(10月14日は町会連合会と重なっているため町会長方には、
後日会議内容をご連絡します。)